



●ごあいさつ

新市将来構想は、 新ながおかの未来に賭ける歴史物語の出発点

このたび長岡地域が合併した場合の新市将来構想を策定しました。策定にあたりましては、多くの住民の皆様及び関係者の方々からご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

私たちの長岡地域は、長い歴史の中で多くの人々の様々な営みによって現在の地域を築いてきました。そして、まちづくりは息の長い未来に向けての営みであり、それは、何か建物をつくったり、ひとつの事業を行えば終わりということではなく、長期にわたる終わりのないものです。だからこそ一人ひとりが夢を持ってまちづくりを進める必要があると思います。今を生きる子どもたちが大人になったときに花を咲かせることができるような、そしてまた次の世代に託すことができるような長い視点でまちづくりに取り組むことが必要です。このたび策定した新市将来構想は、地域の方々の思いや期待、希望を原点として、30万人の人たちが共有すべき新市の地域らしさ価値を導き、さらにこの価値を高めていくために各地域の資源の強みを活かして、どういう活動をしていくのかを考えていくための構想としました。

今、私たちは50年に一度の合併という歴史的な一歩を踏み出そうとしています。新ながおかの繁栄のためには、各地域それぞれの個性ある資源を住民の方々とともに最大限に活かすことが必要となるでしょう。将来構想を実現していく主役は各地域の住民の皆様です。

今回策定した将来構想をご覧いただき、大きな歴史の一歩を踏み出すときの礎にさせていただければ幸いです。

長岡地域任意合併協議会会長

朝焼けの長生橋

長岡地域任意合併協議会委員【51人】(敬称略)

<行政関係>

会長：森 民夫(長岡市) 副会長：久住時男(見附市)

馬場潤一郎(栃尾市) 樋山 粂男(中之島町) 大野 勉(越路町) 遠藤鐵四郎(三島町)
 長島忠美(山古志村) 大橋義治(小国町) 二澤和夫(長岡市) 山本俊一(見附市)
 外山康男(栃尾市) 佐々木保男(中之島町) 熊倉幸男(越路町) 米持昭次(三島町)
 坂牧字一郎(山古志村) 長谷川 孝(小国町)

<議会関係>

小熊正志(長岡市) 大地正幸(長岡市) 伴内勝栄(見附市) 八木庄英(見附市)
 平林豊作(栃尾市) 鈴木正一(栃尾市) 五十嵐亮一(中之島町) 今泉 實(中之島町)
 石坂敏雄(越路町) 伊佐文也(越路町) 大桃健三(三島町) 小方 保(三島町)
 関 正史(山古志村) 高野哲四(山古志村) 樋口章一(小国町) 野田幹男(小国町)

<住民代表>

田村 巖(長岡市) 朝日由香(長岡市) 村上雅紀(見附市) 若杉リツ(見附市)
 佐藤織江(栃尾市) 北村 公(栃尾市) 池田守明(中之島町) 高森精二(中之島町)
 鍵水義慎(越路町) 小林民雄(越路町) 大矢治雄(三島町) 小池 進(三島町)
 高野徳義(山古志村) 酒井利幸(山古志村) 平野保雄(小国町) 池島 寛(小国町)

<学識経験者>

中澤 清(新潟県総合政策部市町村合併支援課長)
 豊口 協(長岡造形大学理事長・学長)
 鈴木隆三(ホクゲン経済研究所所長)

※これまでに協議会に委員として参加いただいた方々

<行政関係>

稲田順一(見附市) 山谷一郎(栃尾市)

<議会関係>

矢野一夫(長岡市) 西川洋吉(栃尾市) 石黒貞夫(越路町)
 野島六司(三島町) 坂牧正憲(山古志村)

表紙・裏表紙のデザインは、新ながおかの資源である「人」「炎」「水」と8つの地域(玉)をモチーフにしています。構想書で示しする統合ビジョンのとおり、新ながおか地域は、人間の持つ可能性と地域資源の融合によって、新たな地域を創造していく地域といえ、新ながおかのエネルギーを表現しました。